

# 20191108 蔵前ゼミ (通算 第 79 回)



講演中の金政さん [何のために努力するのか？ 何のために働くのか？]



世話教員の赤木さん (右), 講師の金政さん, 司会の橋爪さん (左)



会場風景 (すずかけ台, J234 講義室)



パネル Discussion 「努力の蓄積がないと何が起ころのか？」



交流会の様子 (すずかけホール 3F, ラウンジ)



交流会の様子 (参加学生と話す講師の金政さん)



**小倉さん (1978 金属 MS) :** 金政さんには蔵前工業会神奈川県支部の若手の会 (燕翔会) のリーダーをやっています。今日のテーマ「何のために努力するのか？ 何のために働くのか？」は本質的な問題に真正面から切り込むもので、パネルディスカッションも盛り上がりました。素直に考えれば、お金はあった方がいいし、大学は出来るだけ有名なところを出た方がいいですね。しかし、お金持ちがすべて幸せでしょうか。努力して得たものでないと満足できません。そういう意味で、人は良くできていますね。皆さん最高の努力をしましょう (Do your best!)。そうすれば結果はどうであれ、悔いは残りません。



**赤木さん (1979 電気 Dr) :** 今年の 4 月 から IIDP (Innovator and Inventor Development Platform, イノベーション人材養成機構) の特任教授をしています。金政さんは英語では相当努力されたと思います。私は英語は嫌いではありませんでしたが、好きになったのは MIT に 10 か月滞在してからです。私の分野 (強電 power electronics) は 10 か月程度では成果が出せませんので、ホスト役の教授も「英語を身に付け、いろんな人に出て人脈を作りなさい」というので、英語を意識的に勉強するようになりました。電車に乗れば「広告」を読み、新聞を買って「見出しと書き出し」を辿っているうちに、なんとなく意味が取れるようになり、楽しくなったのです。好きになると上達も早いですね。最初の壁を超えるには継続 (努力) しかありません。英語の夢を見るようになればしめたものです。



**錦織さん (1961 窯業) :** このような機会を通して、自分の専門分野以外の知識や考え方を身に付け、さらには専門が異なる友人を作ることが大事です。できれば異性の人たちとも話せる機会になるといいのですが、東工大の特徴からして難しいかもしれません。この蔵前ゼミは、私が蔵前工業会 神奈川県支部長の時に、三島さん (当時総合理工学研究科長, 後の学長) と広瀬さん (当時生命理工学研究科長) の協力を得てスタートしたものです。それ以来、広瀬さんは『印象記』の執筆に注力してくれています。“就活の友”となるばかりか、“人生の副読本”ともなりますので、是非目を通してください。